松川の浄化用水導入施設を見学

「魚も住めぬ川」と言われた松川

昭和30年代頃までは、松川は、神通川の水が流れ込み、子どもたちの水遊びが盛んな清流でした。〝黒ゴイ〟の名所だったと言われ、ウグイやフナ、ウナギやアユも泳いでいました。

しかし、急速な都市化に伴って家庭排水などが流入し始めると、上流の農業用水からの水量が少ないこともあり、汚濁の一途を辿りました。

松川は、ゴミやヘドロでいっぱいとなり、川底からはメタンガスも湧き出て、市などに住民から苦情が殺到しました。

昭和43年7月から44年6月までの汚濁調査で、いたち川、松川、赤江川が、「魚も生息しない川と化している」ことがわかりました。

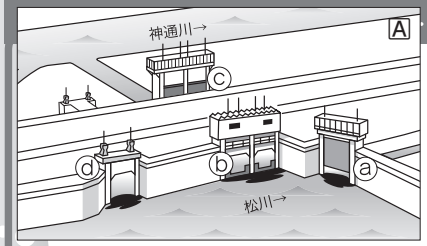
鯉の放流や浚渫ゴミさらえをしたものの…

昭和44年頃から、「神通川をきれいにする協議会」が、「昔のような清流を取り戻そう」と、毎年鯉の稚魚を放流したり、環境浄化のキャンペーンを始め、生命力の強い鯉が泳ぎ回るようになりましたが、水質はなかなか改善しませんでした。

富山市と県河川課では、松川の浚渫やゴミさらえを繰り返しましたが、絶対水量が少なすぎることから、国土交通省（旧・建設省）に導水による松川の浄化を要望しました。

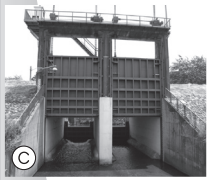
国土交通省ではこれを受けて検討した結果、土川から取水する

水門のいろいろ

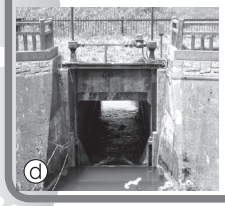


▲松川水門（その２）…ⓐと連動して松川への取水量を調節します。

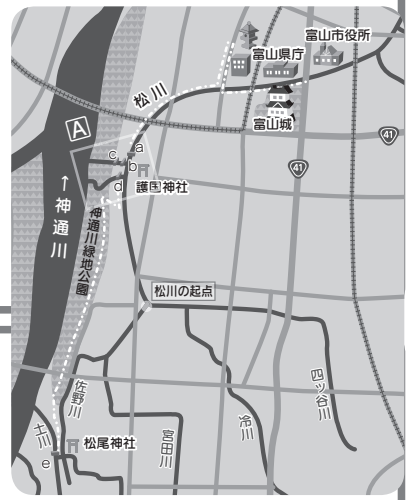
▲松川水門（その１）



◀松川放水門…松川上流が増水した時、これを開いて神通川に放水します。神通川が増水した時は閉め、松川への流入を防ぎます。（写真は、神通川から見たところ）

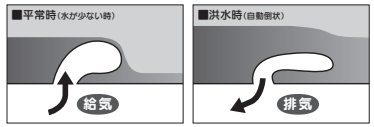


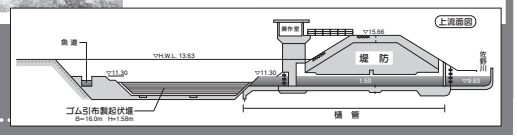
◀舟通し水門…神通川で漁をする漁師さんの笹舟が通ります。



◀管理棟
下側が取水口になっています。

◀平常時には空気を入れて水を取り入れ、水かさが増すと空気を抜いて、水害を防ぐ「ラバーダム」。左の写真は給気された状態の堰。





松川浄化用水導入施設

ことにし、昭和57年から工事を始め、昭和59年11月12日、「松川浄化用水導入施設」が完成しました。

ゴム製の起伏型可動堰で松川に毎秒2トンの水を導入

幅約16mの土川にゴム製の起伏型可動堰（ラバーダム）を作り、その手前の堤防に、土川から松川上流の佐野川へ水を引くための水門を建設。

ラバーダムは、平常時には空気を入れ膨張させて川をせきとめ、堰より水位が30cm程高くなると、水害を防ぐため自動で堰の空気が抜ける仕組み。

この形式の堰は、北陸地方整備局（旧・北陸地方建設局）で初めて施工され、当時としては最新式のものでした。

こうして、毎秒2トンの取水により、松川全川でコイ、フナが泳ぎ回れるような目標水質（BOD 3PPM以下）を達成することに成功しました。

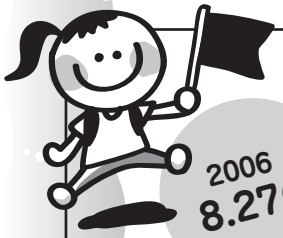
遊覧船の運行も可能な水量の豊富な松川に

実際の導水は、昭和60年4月5日に始まり、松川は水量が豊富な川となり、昭和62年8月には遊覧船の運行も始まりました。

街の中の川で舟遊びができるようになり、全国から観光客を集めるようになったのです。

松川はもっときれいになる

松川への浄化用水導入計画が進められるのと前後して、下水道の整備も始まりました。現在は分流式として整備されている下水道ですが、昭和40年前後までに整備した富山駅南側の277haでは、家庭排水ばかりでなく、雨水も流れ込む「合流式」下水道として整備されました。このため、大雨による増水で下水処理施設の能力が超えた場合、松川に家庭排水の混じった未処理汚水が流れ出してしまうという問題がありました。数年前から、合流式下水道の問題が注目されるようになり、国土交通省は平成16年の下水道法施行令改正で、原則10年間で合流式下水道の改善完了を義務づけました。富山市でも下水処理能力の向上等で未処理汚水が松川に流れ出しにくくする改善計画を策定しており、今後、整備が進められる予定です。



2006 8.27(日)

リバーフェスタとやま2006

舟橋・松川の浄化用水導入施設見学ツアーに参加しよう！

いまからおよそ100年前、富山の街の中には神通川が大きな弧を描いて流れていました。そして、昔の神通川の流れは、現在、松川・いたち川となっています。桜並木の川べりを歩けば、そんな富山の街の歴史にあちらこちらで出会えます。知っているようで、知らなかった『とやまの歴史探険ツアー』に出かけませんか？

舟橋・松川の浄化用水導入施設見学ツアー（午前10:00〜12:00）

舟橋では

近代の改修以前は、神通川が富山城の北側を流れていました。富山城と神通川（現松川）の関係、そして舟橋についてお話します。

…講師／浦畑奈津子さん
（富山市郷土博物館学芸員）

松川浄化用水導入施設では

一時は「魚も住めぬ川」となった松川を浄化しようと、土川に浄化用水を導入するための施設が、国土交通省（旧建設省）によって建設されました。今回はその施設を見学します。

…案内人／中村孝一
（富山観光遊覧船代表取締役）

【対象】一般・親子　20名様まで（先着順）【参加費】無料（要申込）。但し、今回は自転車に乗ってのツアーとなります。各自で自転車をご用意ください。自転車をお持ちでない方は、グッドラックまでご相談ください。【集合場所】松川茶屋（富山城址公園）※午前9時45分までにお越しください。
【お申込み】ちらしについている申込み用紙または、お電話でも受け付けております。
リバーフェスタとやま実行委員会事務局（グッドラックとやま）TEL.076-425-8187 FAX.076-425-8445

協力　パレットとやま　国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所